

社会科 年間指導計画（1年）

学校で育成を目指す 資質・能力		学習の基盤となる資質・能力						現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力					
		<言語能力>						<自分づくり>					
社会科と関連付けた 資質・能力		相手の思いを受け止める力 他者に的確にわかりやすく伝える力 事実を大まかにとらえる力						地域を愛する気持ち、課題に対応する力、主体性・積極性					
学習指導要 領における目 標	知識及び技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。											
	思考力、判断力、表現力等	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。											
	学びに向かう力、人間性等	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。											
月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時数合計	
1年	世界の姿	日本の姿	世界各地の人々の生活と環境	歴史へのとびら	古代までの日本		世界の諸地域		中世の日本			教科書での 配当時数：100h 評価などの予備時間：5h 標準授業時数：105h	
配当時間	8	6	10	7	25		29		15			100	
資質・能力の 三つの柱	知識及び技能	【地理的分野】 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解する。調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 【歴史的分野】 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解する。諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。											
	思考力、判断力、表現力等	【地理的分野】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【歴史的分野】 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。											
	学びに向かう力、人間性等	【地理的分野】 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。 【歴史的分野】 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。											
内容（言語材料）	地球の姿をしてみよう 世界のさまざまな国々 地球上の位置を表そう 地球儀と世界地図	日本の位置 日本の領域の特色 北方領土・竹島と尖 閣諸島 都道府県の特徴	雪と氷の中で暮らす人々 寒暖の差が激しい土地に暮 らす人々 温暖な土地に暮らす人々 乾燥した土地に暮らす人々 常夏の島で暮らす人々 標高の高い土地に暮らす 人々 人々の生活に根付く宗教	時期や年代の表し方 歴史の流れのとらえ方 時代の特色のとらえ方	人類の出現と進化 古代文明のおこりと発展 中国文明の発展 ギリシャ・ローマの文明 宗教のおこりと三大宗教	アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州	武士の成長 院政から武士の政権へ 鎌倉幕府の成立と執権政治 武士と民衆の生活 鎌倉時代の文化と宗教						
単元目標・到達目標	・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置を基に、世界の地域構成を大観し理解させる。 ・世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の緯度や経度に着目し多面的・多角的に考察、表現させる。	・日本の領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を理解させる。 ・日本の地域構成の特色を、多面的・多角的に考察、表現させる。	・生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響をその場所の自然及び社会的条件に影響を与えることを理解させる。 ・世界各地における人々の生活の特色を、自然及び社会的条件などに着目させ多面的・多角的に考察、表現させる。	・資料から歴史に関わる情報を読みとったり、年表などにまとめる技能を身に付けさせる。 ・私たちと歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けさせる。	・日本列島における農耕の広まりと、生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。 ・律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解させる。 ・仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立を基に国際的な要素をもった文化が栄え基礎となしながら文化の国風化が進んだことを理解させる。 ・古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けさせる。	・アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目させて、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。 ・世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	・鎌倉幕府の成立、元寇などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解させる。 ・南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解させる。 ・武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立とユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。						

社会科 年間指導計画（2年）

学校で育成を目指す 資質・能力		学習の基盤となる資質・能力					現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力					
		<言語能力>					<自分づくり>					
社会科と関連付けた 資質・能力		相手の思いを受け止める力 他者に的確にわかりやすく伝える力 事実を大まかにとらえる力					地域を愛する気持ち、課題に対応する力、主体性・積極性					
学習指導要 領における目 標	知識及び技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。										
	思考力、判断力、表現力等	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。										
	学びに向かう力、人間性等	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。										
月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時数合計
2年	日本の地域的特色と地域区分(12)			日本の諸地域(44)					地域調査の手法(5)	地域の在り方(5)		教科書での 配当時数：99h 評価などの予備時間：6h 標準授業時数：105h
	開国と近代日本の歩み(33)											
資質・能力の 三つの柱	知識及び技能	<p>【地理的分野】 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解する。調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【歴史的分野】 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解する。諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p>										
	思考力、判断力、表現力等	<p>【地理的分野】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>【歴史的分野】 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p>										
	学びに向かう力、人間性等	<p>【地理的分野】 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。</p> <p>【歴史的分野】 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。</p>										
内容（言語材料）	地形から見た日本の特色 気候から見た日本の特色 災害と防災・減災への取り組み 人口から見た日本の特色 資源・エネルギーの特色 産業から見た日本の特色			九州地方 中国・四国地方 近畿地方 中部地方 関東地方 東北地方					調査の準備 野外観察・聞き取り調査 調査のまとめ	地域の課題を見つける 課題を調査する 要因を考察する 解決策を構想する 地域の将来を考える		
	イギリスとアメリカの革命 フランス革命 ヨーロッパにおける国民意識の高まり ロシアの拡大とアメリカの発展 産業革命と資本主義											
単元目標・到達目標	・日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けさせる。①自然環境②人口③資源・エネルギー④交通・通信について、それぞれの地域区分を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。			・幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。①自然環境②人口や都市・村落③産業④交通や通信⑤その他の事象を中核とした考察の仕方 で取り上げた特色ある事象とそこで生ずる課題を理解させる。 ・日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。					・観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解させる。 ・地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主	・地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論する手法について理解させる。 ・地域の在り方を地域の結び付きや地域の変容、そこで見られる地理的な課題を多		
	<p>・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。</p> <p>・自由権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解させる。</p> <p>・工業化の進展と政治や社会の変化、明治維新の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p>											

社会科 年間指導計画（3年）

学校で育成を目指す 資質・能力		学習の基盤となる資質・能力					現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力						
		<言語能力>					<自分づくり>						
社会科と関連付けた 資質・能力		相手の思いを受け止める力 他者に的確にわかりやすく伝える力 事実を大まかにとらえる力					よりよい社会を創る態度、主体的に社会に参画する姿勢、社会貢献する姿勢						
学習指導要 領における目 標	知識及び技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。											
	思考力、判断力、表現力等	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。											
	学びに向かう力、人間性等	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。											
月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時数合計	
3年 (配当時間)	二度の世界大戦と日本(27)			現代の日本と世界(14)		現代社会と私たち(14)		地球社会と私たち(14)		私たちの暮らしと経済(24)		より良い社会を目指して(4)	教科書での 配当時数：136h 評価などの予備時間：4h 標準授業時数：140h
	個人の尊重と 日本国憲法(16)				現代の民主政治と社会(23)								
資質・能力の 三つの柱	知識及び技能	【歴史的分野】 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解する。 諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 【公民的分野】 人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深める。 資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。											
	思考力、判断力、表現力等	【歴史的分野】 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【公民的分野】 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。											
	学びに向かう力、人間性等	【歴史的分野】 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。 【公民的分野】 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。											
内容（言語材料）	第一次世界大戦と民族独立の動き・高まるデモクラシー意識・戦争に向かう世論 第二次世界大戦の始まり・太平洋戦争の開始・戦時下の人々・戦争の終結			持続可能な社会に向けて 結び付きを深める世界 変わる人口構成と家族 情報が変える社会の仕組み			私たちの生活と文化の役割 伝統文化と新たな文化の創造 多文化共生を目指して 社会集団の中で生きる私たち 決まりを作る目的と方法・効率と公正			国際社会における国家 地域主義の動き 新興国の台頭と経済格差 地球環境問題・貧困問題 難民問題・世界と協力する日本		持続可能な社会の形成者として 持続可能な社会を実現するために 探究を続ける	
	人権の歴史と憲法・日本国憲法とは 国民主権と私たちの責任 平和主義の意義と日本の役割 基本的人権と個人の尊重			政治と民主主義・政党の役割 行政を監視する国会・行政の仕組みと内閣 裁判の種類と人権 私たちの生活と地方自治・地方自治の仕組み・住民参加の拡大と私たち			私たちの消費生活・契約と消費生活・消費生活を支える流通 生産活動と企業・労働の意義と労働者の権利 貨幣の役割と金融・景気と金融政策 少子高齢化と財政・公害の防止と環境の保全						
単元目標・到達目標	・昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍をもたらしたことを理解させる。 ・近代の日本と世界について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。			・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・現代社会について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。			・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。			・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。 ・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解させる。 ・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。		・社会的な見方・考え方を働かせ、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述させる。 ・私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組む、主体的に社会に関わろうとさせる。	
	・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解させる。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。			・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解させる。 ・地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解させる。 ・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。			・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解させる。 ・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 ・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解させる。 ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解させる。 ・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。						